

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成26年1月31日
【四半期会計期間】	第52期第2四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社アクシーズ
【英訳名】	XYZ Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々倉 豊
【本店の所在の場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【最寄りの連絡場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第2四半期連結 累計期間	第52期 第2四半期連結 累計期間	第51期
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 7月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 7月1日 至平成25年 6月30日
売上高(千円)	7,796,542	7,798,882	14,792,334
経常利益(千円)	394,579	196,097	410,009
四半期(当期)純利益(千円)	264,795	152,023	260,952
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	270,958	142,870	292,612
純資産額(千円)	6,260,361	6,354,686	6,282,016
総資産額(千円)	8,950,088	8,732,443	8,129,803
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	47.15	27.07	46.47
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	69.9	72.8	77.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	40,042	242,637	180,853
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	65,773	399,570	260,023
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	94,448	229,751	553,466
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,157,048	797,494	724,676

回次	第51期 第2四半期連結 会計期間	第52期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	36.90	19.74

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに生じたリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融緩和策や政府による成長戦略の効果により円安や株高基調が継続したものの、欧州の緊縮財政の影響による景気低迷の長期化や新興国の経済成長の鈍化、今後予定されている消費税増税の影響等を考慮すると、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

また、鶏肉業界におきましては、国内・輸入在庫がともに低水準で推移したことと、他の肉類に比べ安価である鶏肉の引き合いが強まったことにより、国内鶏肉相場は強含みに推移いたしました。しかしながら、飼料用穀物価格の高止まりが続いていることから、依然として厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当社グループの業績は、売上高は77億98百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。利益面につきましては、営業利益1億34百万円（前年同四半期比58.2%減）、経常利益1億96百万円（同50.3%減）となり、四半期純利益は1億52百万円（同42.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 鶏肉関連

鶏肉関連事業におきましては、鶏肉及び鶏肉加工食品の販売が好調に推移しましたが、新規農場建設や加工工場設備の改修等に係る諸経費の増加により、売上高は64億17百万円（前年同四半期比2.2%増）、セグメント利益は13百万円（同93.0%減）となりました。

#### 外食

外食事業におきましては、店舗におけるコスト削減に努めたものの、セールスが伸び悩んだことから、売上高は13億81百万円（前年同四半期比8.9%減）、セグメント利益は1億20百万円（同10.4%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ6億2百万円増加し、87億32百万円となりました。これは主に、たな卸資産が1億30百万円、有形固定資産が3億70百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ5億29百万円増加し、23億77百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加し3億円、未払金が増加し1億39百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ72百万円増加し、63億54百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が9百万円減少したものの、利益剰余金が増加し81百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、7億97百万円となり、前連結会計年度末と比較して72百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、2億42百万円の資金増加(前年同四半期は40百万円の資金減少)となりました。これは、たな卸資産の増加が1億30百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が2億20百万円、減価償却費が1億50百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、3億99百万円の資金減少(前年同四半期は65百万円の資金減少)となりました。これは、定期預金の払戻による収入が50百万円、投資有価証券の売却による収入が67百万円、貸付金の回収による収入が62百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が5億50百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、2億29百万円の資金増加(前年同四半期は94百万円の資金減少)となりました。これは、配当金の支払額が70百万円あったものの、短期借入れの実行が3億円あったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、55百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,350,000
計	19,350,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年1月31日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,617,500	5,617,500	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 (100株)
計	5,617,500	5,617,500	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1 日~ 平成25年12月31日	-	5,617,500	-	452,370	-	428,340

( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
伊地知 恭正	東京都文京区	938	16.69
有限会社照国興産	鹿児島県鹿児島市照国町	600	10.68
伊地知 昭正	鹿児島県鹿児島市	531	9.45
伊地知 高正	鹿児島県鹿児島市	502	8.95
伊地知 芳正	東京都江東区	502	8.95
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町一丁目	210	3.73
株式会社鹿児島銀行	鹿児島県鹿児島市金生町	190	3.38
村尾 万紀子	大阪府豊中市	185	3.29
伊地知 洋正	東京都文京区	185	3.29
伊地知 剛正	東京都文京区	185	3.29
計	-	4,029	71.73

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,615,700	56,157	-
単元未満株式	普通株式 400	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,617,500	-	-
総株主の議決権	-	56,157	-

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アクシーズ	鹿児島市草牟田二丁目1番8号	1,400	-	1,400	0.02
計	-	1,400	-	1,400	0.02

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	774,676	807,494
受取手形及び売掛金	1,108,038	1,577,836
製品	162,461	174,674
仕掛品	204,259	241,246
原材料及び貯蔵品	595,346	676,806
その他	694,672	379,039
貸倒引当金	432	779
流動資産合計	3,539,021	3,856,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	347,337	448,497
工具、器具及び備品(純額)	521,941	799,407
土地	2,765,637	2,770,445
その他(純額)	96,714	83,809
有形固定資産合計	3,731,630	4,102,160
無形固定資産	18,668	11,609
投資その他の資産		
投資その他の資産	842,789	764,321
貸倒引当金	2,306	1,966
投資その他の資産合計	840,483	762,354
固定資産合計	4,590,782	4,876,125
資産合計	8,129,803	8,732,443
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	384,427	390,600
短期借入金	-	300,000
未払金	934,121	1,073,143
未払法人税等	31,712	80,119
その他	106,105	143,082
流動負債合計	1,456,366	1,986,946
固定負債		
社債	40,800	40,800
退職給付引当金	193,175	189,835
役員退職慰労引当金	104,718	106,975
その他	52,727	53,199
固定負債合計	391,421	390,811
負債合計	1,847,787	2,377,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	5,331,956	5,413,778
自己株式	1,087	1,087
株主資本合計	6,211,578	6,293,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,437	61,284
その他の包括利益累計額合計	70,437	61,284
純資産合計	6,282,016	6,354,686
負債純資産合計	8,129,803	8,732,443

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,796,542	7,798,882
売上原価	5,456,346	5,737,687
売上総利益	2,340,195	2,061,195
販売費及び一般管理費	2,017,579	1,926,445
営業利益	322,616	134,750
営業外収益		
受取利息	1,130	2,163
受取配当金	1,215	1,301
持分法による投資利益	43,535	10,962
為替差益	7,495	18,412
受取家賃	10,987	13,720
その他	15,416	15,829
営業外収益合計	79,780	62,390
営業外費用		
支払利息	3,796	869
その他	4,021	172
営業外費用合計	7,817	1,042
経常利益	394,579	196,097
特別利益		
投資有価証券売却益	-	27,294
受取保険金	47,405	-
特別利益合計	47,405	27,294
特別損失		
固定資産除却損	-	3,389
固定資産圧縮損	44,918	-
特別損失合計	44,918	3,389
税金等調整前四半期純利益	397,066	220,002
法人税、住民税及び事業税	140,353	75,388
法人税等調整額	8,082	7,410
法人税等合計	132,271	67,978
少数株主損益調整前四半期純利益	264,795	152,023
四半期純利益	264,795	152,023

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	264,795	152,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,162	9,153
その他の包括利益合計	6,162	9,153
四半期包括利益	270,958	142,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,958	142,870

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	397,066	220,002
減価償却費	126,468	150,540
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,788	3,339
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,334	2,257
受取利息及び受取配当金	2,345	3,465
支払利息	3,796	869
持分法による投資損益(は益)	43,535	10,962
固定資産圧縮損	44,918	-
受取保険金	47,405	-
投資有価証券売却損益(は益)	-	27,294
売上債権の増減額(は増加)	119,296	469,797
たな卸資産の増減額(は増加)	331,282	130,659
その他の流動資産の増減額(は増加)	216,861	318,686
仕入債務の増減額(は減少)	146,897	6,173
その他の流動負債の増減額(は減少)	62,131	203,152
その他	25,200	25,610
小計	16,770	230,551
利息及び配当金の受取額	2,345	3,465
利息の支払額	3,768	869
その他の収入	31,923	29,549
その他の支出	4,021	172
法人税等の還付額	41,386	2,222
法人税等の支払額	91,138	22,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,042	242,637
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	60,000	10,000
定期預金の払戻による収入	60,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	195,356	550,403
投資有価証券の売却による収入	-	67,477
貸付けによる支出	20,400	20,000
貸付金の回収による収入	144,400	62,500
敷金及び保証金の差入による支出	1,440	905
その他	7,023	1,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	65,773	399,570
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	24,250	-
配当金の支払額	70,198	70,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	94,448	229,751
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	200,264	72,818
現金及び現金同等物の期首残高	1,357,312	724,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,157,048	797,494

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	2,021千円	2,046千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
販売手数料	84,691千円	79,020千円
荷造運搬費	469,958	438,545
役員報酬	58,277	56,608
従業員給与手当	299,607	284,384
雑給	312,349	272,237
役員退職慰労引当金繰入額	4,657	4,757
退職給付費用	4,293	6,804
減価償却費	38,799	50,657
賃借料	242,126	230,254
研究開発費	50,718	55,849

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	1,207,048千円	807,494千円
預入期間が3か月を超える定期預金	50,000	10,000
現金及び現金同等物	1,157,048	797,494

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成24年6月30日	平成24年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月20日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成25年6月30日	平成25年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,278,974	1,517,567	7,796,542	-	7,796,542
セグメント間の内部売上高又は振替高	87	-	87	87	-
計	6,279,061	1,517,567	7,796,629	87	7,796,542
セグメント利益	186,813	134,210	321,023	1,592	322,616

(注)1. セグメント利益の調整額1,592千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,416,883	1,381,999	7,798,882	-	7,798,882
セグメント間の内部売上高又は振替高	180	-	180	180	-
計	6,417,063	1,381,999	7,799,062	180	7,798,882
セグメント利益	13,020	120,202	133,223	1,526	134,750

(注)1. セグメント利益の調整額1,526千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	47円15銭	27円07銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	264,795	152,023
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	264,795	152,023
普通株式の期中平均株式数(株)	5,616,060	5,616,060

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年1月29日

株式会社アクシーズ

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 川畑 秀二 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。